

メモだけ
じゃない!

USBで何を繋ごうかな?

今やパソコンには当たり前のようにUSB接続端子が付いていますが、皆さんはどのくらいご利用されていますか? USB接続マウスやキーボード、USBメモリやUSB接続HDD、プリンタに無線LANの子機…。世の中には様々なUSB接続機器が存在していますが、そもそもUSBとはどんなものでしょう? 今回はちょっと変わったUSB接続機器と、最近のUSB事情をご紹介します。

今更ですが、USBってどんなもの?

USBは、ユニバーサル・シリアル・バスの略称で、コンピュータに周辺機器を接続する規格の一つです。Windows95や98の時代には、パソコンの背面にはいろいろな規格の接続端子が並んでいました。外付けHDDはこの端子、プリンタはこっちの端子…。というように、接続機器をそれぞれ決まった端子に接続しなければならず、それぞれの端子の形に合ったケーブルも用意しなければなりません。マウスやキーボードでさえ、緑はマウス、紫はキーボードというように端子が色分けされていました。

ところが、USBの登場でマウス、キーボード、外付けHDD、プリンタ…。もすべて同じ形のUSB端子に接続すれば使えるようになりました。もちろんケーブルもプリンタ用とかHDD用などの区別はなく、どれも同じUSBケーブルで接続できるようになりました。

USBは規格上、最大127台までの機器を接続できます。接続端子を増やすためのHUB(ハブ)も最大5つまでOKですが、こんなにたくさんの機器をつなげることなんて、メーカーのテストぐらいですよ。

超高速USB3.0登場!

USBにはデータ転送速度の遅いUSB1.1、高速のUSB2.0などの規格がありますが、最近のパソコンはUSB2.0が更に高速なUSB3.0が搭載されています。USB3.0は、これまでのUSB2.0の10倍のデータ転送速度があり、SSDなどの高速ドライブも扱えるようになりました。

USB3.0は下位互換がありますので、USB2.0のケーブルで、USB2.0端子としても使用できます。

マイクロUSB3.0はこんな形



USB3.0接続のHDD



USBは、こんな製品まであります

USBは電源の供給もできますので、意外な商品が出回っています。USB扇風機はよく目にすると思いますが、他にもいろんな商品があります。



USB加湿器

トレイの中の水を加熱して蒸発させます。作業時のノドや目の乾燥を防ぐためのものらしいです。熱ではなく、超音波を使って水を飛散させる高級?タイプもあります。



USB掃除機

USBポートに差すだけで使用できるハンディ掃除機です。パソコンの周りやキーボードの隙間の掃除にピッタリです。USB電源でも乾電池でも使用できます。



USBグラフィックアダプター

USBケーブル1本で簡単に液晶ディスプレイを増設できます。ディスプレイ接続端子の無いノートパソコンを手軽にマルチディスプレイ環境にできます。

USBはパソコンだけのものではありません!

コンピュータと周辺機器を接続するために生まれたUSBですが、活躍の場はそれにとどまらず、家電製品などにも広がっています。

最近ではテレビやブルーレイレコーダーにもUSB端子が付いていて、対応する外付けHDDに録画ができたり、無線LANアダプタを接続して、別の部屋にあるブルーレイレコーダーに録画した番組を再生できる機種もあります。



他にもテレビとWebカメラをUSB接続して、Skypeでテレビ電話ができるものもあります。これから先、どんなものがUSBで繋がるのか、楽しみですね。皆さんは何を繋げてみたいですか?

USBに負けた? IEEE1394

USBの他にIEEE1394という規格をご存知ですか? 「Fire Wire」とか「i.Link」と言った方がピンとくる方が多いかもしれません。一般的に「DV端子」と呼ばれ、デジタルビデオカメラなどに搭載されていることが多いようです。

データを転送する規格として世に出た2つの規格ですが低速であったUSBはマウスやキーボードなどの接続に使用され広がっていき、今やパソコン搭載率もほぼ100%と呼べるほどになりました。一方IEEE1394は最初からデータ転送が高速であったため、外付けHDDや動画などの大容量データの転送用としてパソコンに搭載されるようになりましたが、パソコンへの普及率はUSBにはかないませんでした。それでもビデオカメラなどからのデータ転送には欠かせない接続方法として、家電の世界では、ブルーレイレコーダーなどに搭載されています。

USB2.0が出てくると、USBはますますIEEE1394の領域にまで入り込み、最近のビデオカメラはUSB接続でレコーダーに映像を取り込むことができる機種もありますが、レコーダー同士のデジタル画像のダビングでは、今でもIEEE1394接続が主流です。

USB3.0の登場で、IEEE1394はますます立場が小さくなりそうです。

HDMIは一方通行!

テレビやレコーダーの話が出てきたついでに、HDMIについてちょっとだけお話ししますね。最近パソコンやデジタルカメラ、スマートフォンにもHDMI端子が付くようになり、ケーブル1本でデジタル映像をテレビに映すことができますが、IEEE1394とどこが違うのでしょうか。実はHDMIは1方向にしかデータを伝送できません。テレビのHDMI端子は入力用、レコーダーのHDMI端子は出力用です。レコーダー同士をHDMIケーブルで接続してもダビングはできませんよ。

■夏期休業期間のご案内■

平成23年8月12日(金)~8月16日(火)
上記の期間は夏期休業とさせていただきます。
尚、8/12(金)~8/16(火)の間のお問合せ、製品注文メールへの対応は8/17(水)以降になります。
ご迷惑をおかけ致しますが何卒ご了承下さい。

開発室から

7月24日にアナログ放送が終わりました。その瞬間を見るために、テレビの前で待っていましたが、何事もなく放送が続きました。テレビ画面の右上にはいつの間にか「デジアナ」と表示されています。「そうだ! ケーブルテレビだった」と、世紀の瞬間を見逃したことにちょっととガッカリ。世紀の瞬間は2015年3月末までおあずけです。